

第8回 ありんこ祭り 開催のお知らせ

今年で8回目になるありんこ祭です。ありんこホーム全員が集まって、普段お世話になっている地域の方たちに感謝の気持ちを込めて、毎年行なっています。ありんこダンスチームの発表など、模擬店やバザーも皆さんに楽しんでいただける内容にしたいと思います。

- ◎ 日時 10月5日(土) 12:00~14:30 *雨天中止
12:20~バザー・模擬店開始
- ◎ 場所 鴨宮みどりの広場
(第3ありんこホームをへ約100メートル)
- ◎ 内容 模擬店・踊り・演奏など

地域の方と一緒に過ごすイベントです。
皆さんも是非参加してください!!



- 今後の予定
- 8月
 - 10日~15日 夏季休暇
 - 16日~17日 男性宿泊体験班
夏季キャンプ

賛助会員募集!!

賛助会費(1年)

- 1) 個人: 1口 2,000円 (1口以上)
- 2) 法人・団体: 1口 5,000円
(1口以上)

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。

よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金

記号 10270

番号 15932091

名前 トクヒ) オダワラニジノカイ

編集後記

今年の梅雨は長く、じめじめとした梅雨で、体調も今一つすぐれない、いやな季節でした。編集作業中の今も梅雨明けはしていません。

昨年の今頃はうだるような暑い日が続いていて、やはり体調管理が大変だったという記憶があります。どちらが良いのかわかりませんが、とにかく元気に夏を乗り切りましょう!!



連絡先

ありんこホーム (就労継続支援B型)

小田原市浜町4-29-1

TEL0465-24-5486 Fax0465-20-5477

第2ありんこホーム (就労継続支援B型・生活介護)

小田原市扇町2-31-5 扇町マンション1階

TEL0465-35-8393 Fax0465-42-9290

第3ありんこホーム (地域活動支援センター)

小田原市鴨宮328 TEL/Fax0465-48-8269

ありんこホームふじみ (就労継続支援B型)

小田原市南鴨宮3-6-11 TEL/Fax0465-46-9109

ありんこホームすまいる (グループホーム)

小田原市南鴨宮1-14-27 TEL/Fax 0465-48-5503

第289号

令和元年8月1日発行

ありんこだより

発行 NPO法人「おだわら虹の会」

〒250-0874 小田原市鴨宮328

TEL/Fax0465-48-8269

第72回小田原市市展に今年も出品

今年も古谷義輝さんと穂坂日出夫さんの男性2名の作品を出品し、6月5日から9日まで生涯学習センターけやきのホールで展示されました。二人に感想を聞いてみました。

『古谷義輝です。ありんこに通い始めて3年半という月日が経ちました。皆さんにはいつもお世話になっております。私が習字を始めたきっかけは、高橋理事長から山本千紅先生を紹介されたことからでした。この度小田原市の市展に出展して頂き、本当にうれしかったです。月1回の書道教室で先生には筆使いや書き方などを教わり大変お世話になっています。習字をやっているうちに少しずつ自信が付きました。習字の奥深い世界を少し知ることが出来て良かったです。』

『穂坂日出夫です。今回は時間があまりない中、千紅先生の御指導で何とか作品が完成しました。初めての草書だったので、家で練習する際にもかなり苦労しました。雪の字は本当に難しかったです。「玉雪開花」という言葉の意味は、木に積もった雪が花のように見えるということで、半切に書く時もそれをイメージしました。先生からは「筆を立てて!!」と指導を受けました。短い練習時間の割には良く出来たと思います。山本先生どうもありがとうございました。』



左から 古谷さん、山本先生、穂坂さん

特定非営利活動法人 おだわら虹の会総会 報告

2019年5月28日(火) 生きがいふれあいセンターいそしぎ 第1講習室

開会冒頭に高橋直美理事長が挨拶を行い、ご来賓の小田原市長代理山崎文明福祉健康部長、小田原市社会福祉協議会会長小野康夫様、小田原市民生委員児童委員協議会会長市川昭維子様からご挨拶いただきました。その他のご来賓、小田原市障がい福祉課副課長瀬戸様、同杉本様、同支援係の方はお名前をご紹介させていただきました。議事に入り、第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告の件、第2号議案 平成31年(令和元年)年度事業計画(案)及び、予算(案)の件・第4号議案 定款変更の件・第5号議案 役員改選の件を審議し、満場一致で了承を得ました。

今年度は新グループホーム開設を間近に控え、相談支援事業を展望しながら、利用者・ご家族・地域のニーズに沿った新たな事業展開を行うことを報告し確認しました。

李税理士スプリングパーティーに今年も参加!!

李税理士事務所（李富鉄所長）主催による、Lee スプリングパーティーが6月6日に横浜のTVKハーバース・ダイニングで開催され、ありんこホームからも利用者、職員等11名で参加させて頂きました。会場に少し早く着いたため、リハーサルも見学することが出来ました。



16:30オープニング、李税理士をはじめ来賓の挨拶、そしてカラオケ大会。カラオケでは、ありんこや他の事業所の参加者が持ち歌を熱唱!!とても盛り上がりました。素敵な食事を頂きながらマジックショーや歌手のミニライブで楽しみました。パーティーの最後、抽選会ではみなさんワクワク・ドキドキ、楽しいひとときでした。



毎回御招待頂き、格別のおもてなし、ありがとうございます。李様はじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



~いい香りに包まれて~梅拾いのお仕事

今年も、下曾我の和園なごみえん（代表 川久保和美様）さんからご依頼をいただき、梅拾い作業をしてきました。

作業内容は、ネット上に落ちた梅の実を拾うことです。利用者4~5名で、大きくて傷の少ない梅の実をよく見ながら、コンテナいっぱいに集めました。今年は意欲的な利用者さんが多く、蒸し暑い日や天候の悪い日もありましたが、なんとか時間内に終わらせようと、一生懸命お仕事をしてくれました。

ネット外の落ち梅は「ありんこホームで持ってっていいよ!!」と言ってくださり、沢山いただいてきました。自主製品のジャムや梅干しを作らせていただきます。

和園さん、お仕事をくださり、ありがとうございました。

続報！待望の新グループホーム完成間近！！



前回の「ありんこだより」第287号でお知らせした新グループホームの続報をお知らせします。

まず工事の状況は、梅雨の長雨の中にもかかわらず、順調に進み7月末には外構を含めて建物の施工が完了する予定です。

そして、8月末に、入居者（1階男性5名・2階女性5名）が引っ越しを完了し、9月1日にはオープンする予定です。

このグループホームでは、現行の「ありんこホーム すまいる」で学んだ経験を糧に入居者一人ひとりが主体となり、それぞれの個性を尊重し、日々穏やかな生活が送れ、地域の皆様に親しみ、信頼されるグループホームを目指していきます。

りが主体となり、それぞれの個性を尊重し、日々穏やかな生活が送れ、地域の皆様に親しみ、信頼されるグループホームを目指していきます。

小田原市いっせい総合防災訓練に各事業所で参加！！

~令和元年6月29日(土)~

今年是小田原市が全市で一斉に防災訓練を行い、ありんこでも各事業所で地域の訓練に参加してきました。事業所其々の様子を聞いてみました。

【第1ありんこホーム】

広域避難場所の「新玉小学校」へ避難し、地域の方々と防災訓練に参加、防災に対する心構えを習得してきました。ありがとうございました。



【第2ありんこホーム】

8時20分に事業所を出て、8時30分に一時避難場所に集合し、その後地域の方と広域避難所（足柄小）への避難訓練。住民避難訓練（一時避難場所へ避難後、広域避難場所へ避難）広域避難場所での訓練内容

- ①広域避難所開設訓練（避難者カード記入）
- ②炊き出し訓練
- ③DVD放映による防災関係の学習
- ④浸水防止措置体験（家庭でできる土のうの作り方）
- ⑤防災倉庫・防災貯蔵庫・小学校津波避難場所見学

浸水防止措置体験

地域の消防団の方より土のうの作り方を教わりました。また、体験もさせて頂き優しく指導も受けました。ありがとうございました。

【第3ありんこホーム】



利用者8名、職員4名、ボランティアさん1名の計13名で参加。

今回広域避難場所の矢作小学校ではなく、鴨宮中学校での開催で、会場が近くなり移動も楽になりました。8時50分に鴨宮中学に集合し、土のうづくり・非常食の炊き出しの実演・避難場所の確認などの訓練に参加しました。

「土のうづくり」には利用者も参加し、袋をあげる人スコップで土を入れる人と分担し、協力し合いながら訓練を行っていました。地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

【ありんこホームふじみ】

富士見地区の訓練に利用者4名、支援員3名の計7名で参加しました。

一時避難場所の鴨宮駅前南口広場に集合し、広域避難場所である富士見小学校校庭に移動しました。近くの富士見公園に移動し、富士見公園地下に設置された耐震性貯水槽には、災害時に1人に1日3割で3日間、約1万人分の水が貯水されていること等の説明がありました。次に校庭にて、土のう作りを利用者と支援員で体験しました。特別な袋に砂をスコップに入れて口を閉め、家や建物内への水の侵入を防ぐように積んでいきました。また、仮設トイレ・簡易トイレの設置等の訓練も行われました。

小田原は海に面しているため、津波の心配もあります。津波発生時の避難場所も確認出来ました。地域住民と声を掛け合い協力し、助け合いが大切だとこの訓練で再確認出来ました。